

---

# 山陽学園大学・山陽学園短期大学における IRの取り組み

---

2025（令和7）年10月8日



---

山陽学園大学・山陽学園短期大学  
IR推進室長 武内 克之



# 1 大学におけるIRとは



これまでのお話のおさらいです。

## Integrated Resort 統合型リゾート

国際会議場・展示施設などのMICE施設、ホテル、商業施設、アミューズメント施設などが一体になった複合観光集客施設

IR って何？

## Investor Relations 投資家向け広報

企業が株主や投資家に対し、財務状況など投資の判断に必要な情報を提供していく活動全般

## Institutional Research

訳語：機関研究、大学機関調査研究など

- 高等教育機関において、機関に関する情報の調査及び分析を実施する機能又は部門。
- 機関情報を一元的に収集、分析することで、機関が計画立案、政策形成、意思決定を円滑に行うことを可能とさせる。
- また、必要に応じて内外に対し機関情報の提供を行う。

※出典：教学マネジメント指針（2020.1.22 中央教育審議会大学分科会）用語解説

➡ 組織の形態や担当する業務は、大学等によって多種多様

## 2 山陽学園大学・短期大学におけるIR推進室（その1）



山陽学園大学・短期大学のIR担当部局  
=IR推進室は、こんな組織です。

- 2016（平成28）年4月に設置
- 従来の企画部を取り込む形（企画部はIR推進室に属する部という位置づけ）
  - IRと企画（広報含む）の機能・業務を一体的に推進
- 現在は4名体制（うち3名がこの4月から）
- 主な役割は、科学的根拠に基づく（Evidence-basedな）意思決定の支援
  - 学長等の幹部職員へ情報・分析結果を提供し、大学改革に活用
  - FD・SD研修会等を通じて、分析データを学部や部署にフィードバックし、教育内容や教育方法の改善に活用

### 3 山陽学園大学・短期大学におけるIR推進室（その2）



IR推進室の主な担当業務は次のとおり。  
手広く、いろいろな仕事をしています。

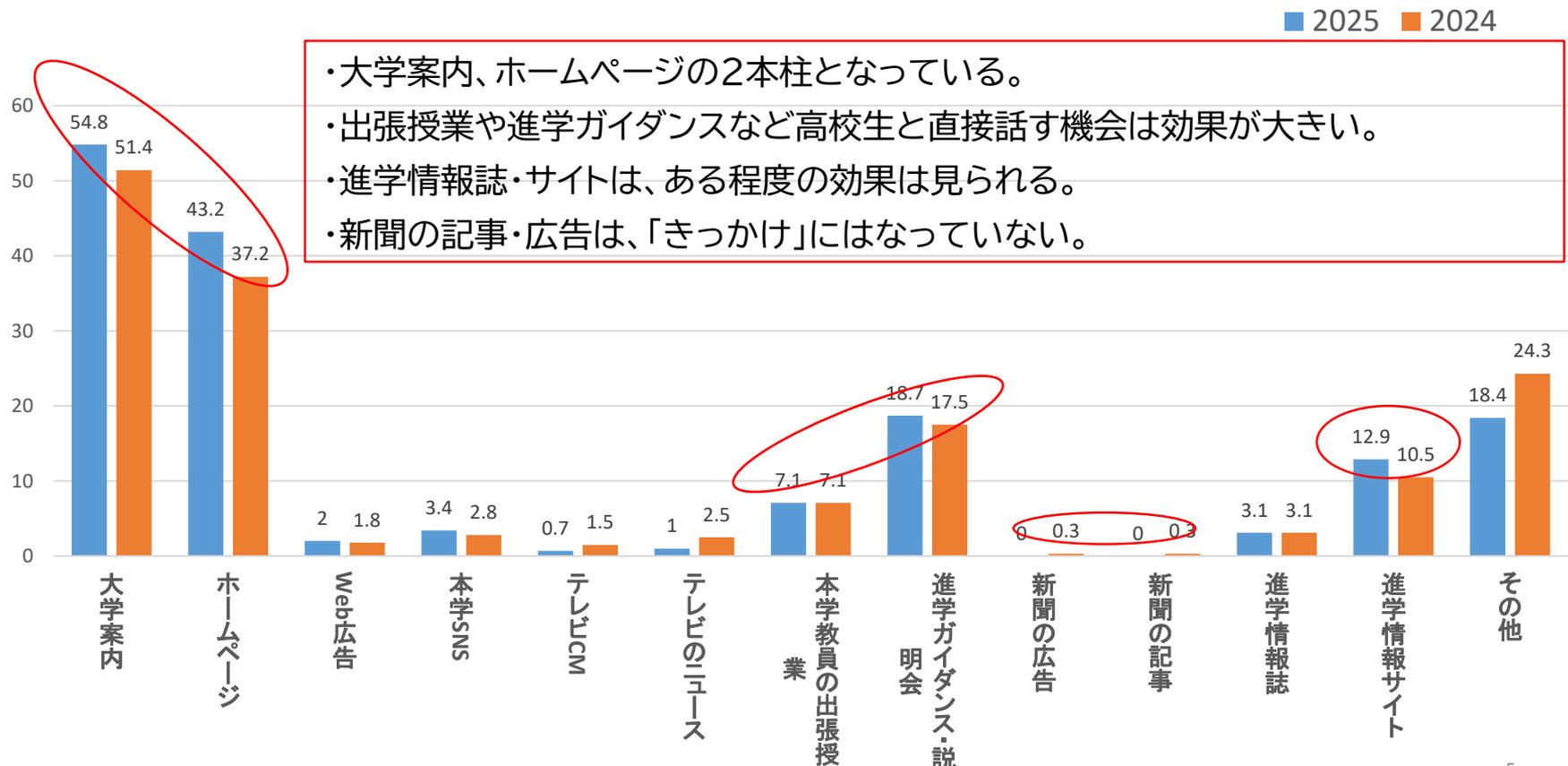
- 大学改革のための各種データの収集・分析・調査報告
- 学生対象の各種アンケート調査の実施と結果分析
- 各年度事業計画等の策定と自己点検・評価(PDCA等)の推進
- FD・SD研修会の企画・実施
- 教学IRによる教学マネジメントの支援
- GPA等教務データと他のデータを関連づけた調査・分析
- テーマを設定したIRレポート（教職員向け）の作成・発信
  - 学修行動と学生生活へのコロナ禍の影響を探る！（2021）
  - 本学におけるオンライン授業の評価と課題(2022)
  - 新たな学生募集戦略の展開(2022)
  - 入学時アンケート
  - 学修行動及びキャンパスライフ調査 など

# 4 学生データの分析（入学時アンケート①）



- 毎年度、新入生を対象として「入学時アンケート」を実施しています。
- 大学(3学部4学科)入学者184人 回答176人 95.6%  
短大(2学科) 入学者119人 回答118人 99.2%

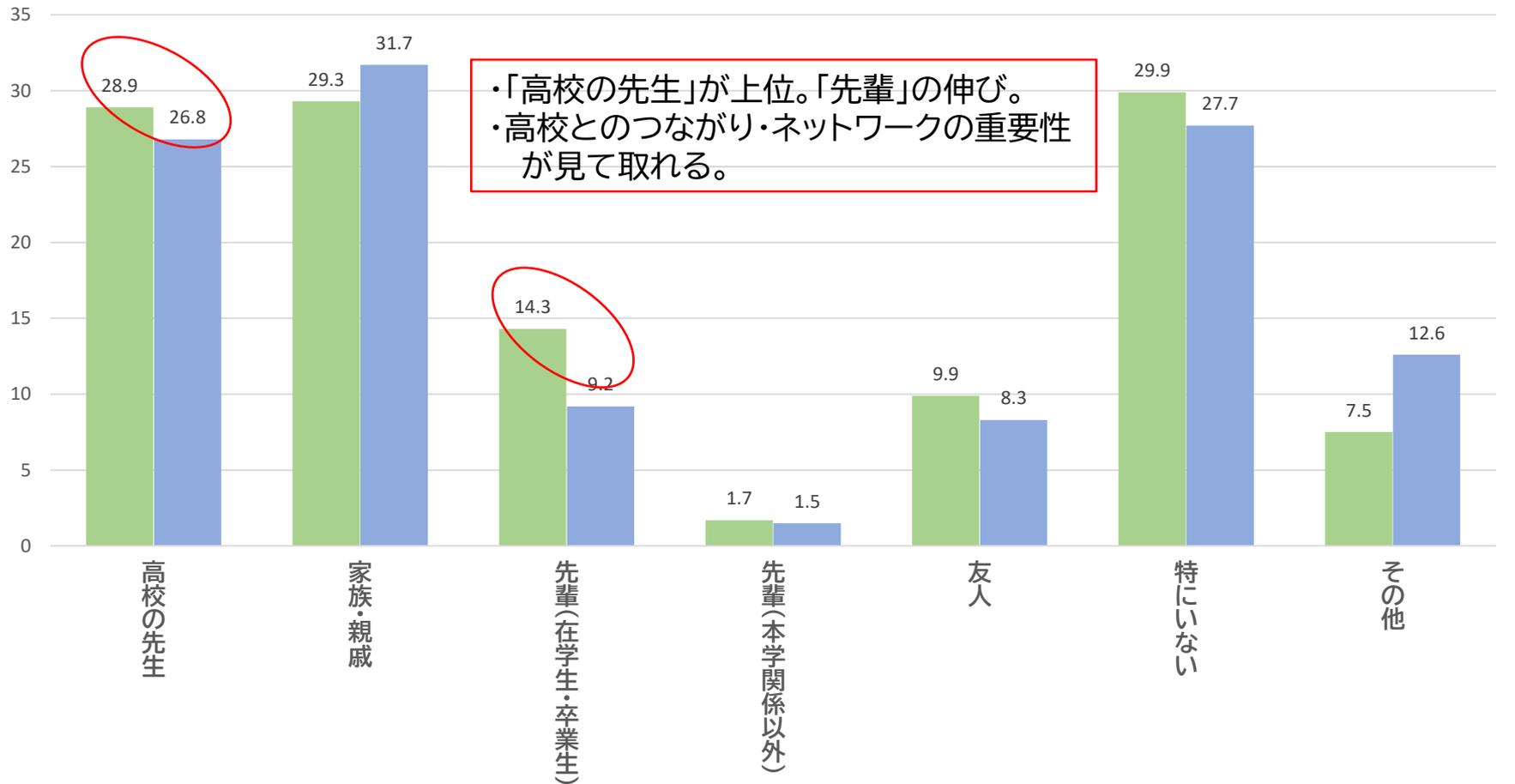
学科に関心を持つ「きっかけ」となった  
情報源(全学)※3つまで



## 5 学生データの分析（入学時アンケート②）

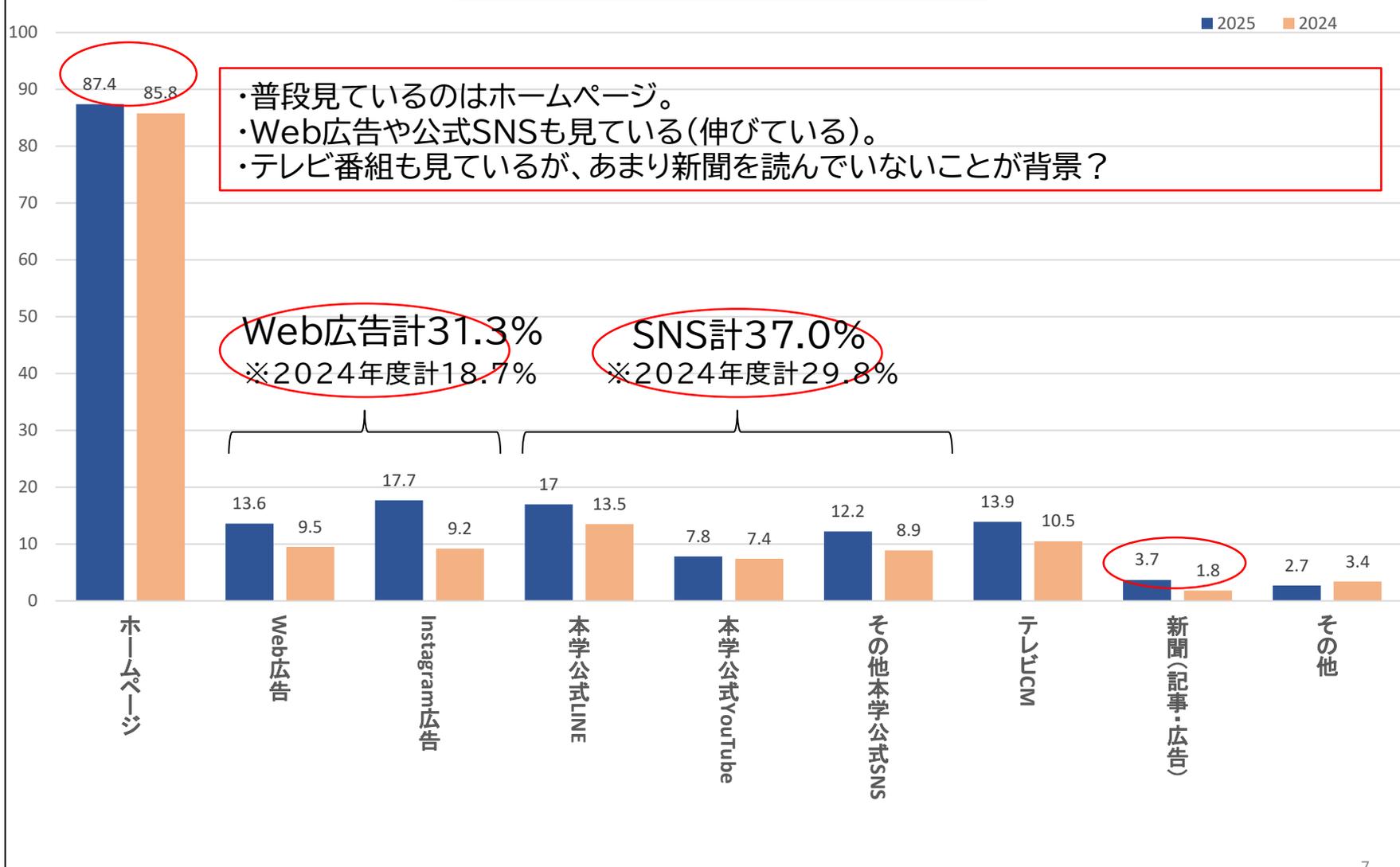
学科に関心を持つ「きっかけ」になった  
人(全学)※2つまで

■ 2025 ■ 2024



## 6 学生データの分析（入学時アンケート③）

本学の広報で見たことがあるもの(全体)

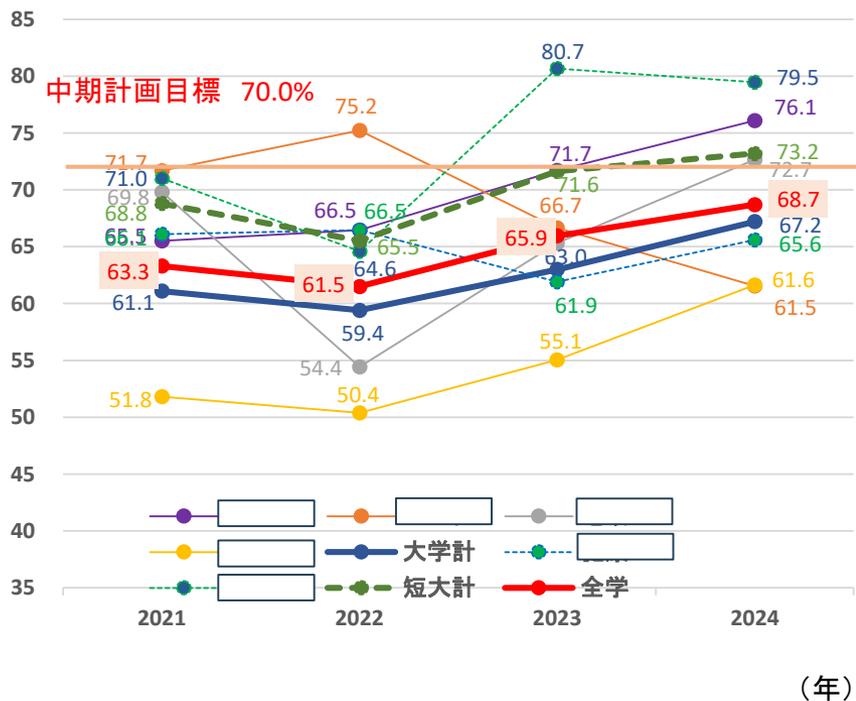


# 7 学生データの分析(学修行動及びキャンパスライフ調査①)

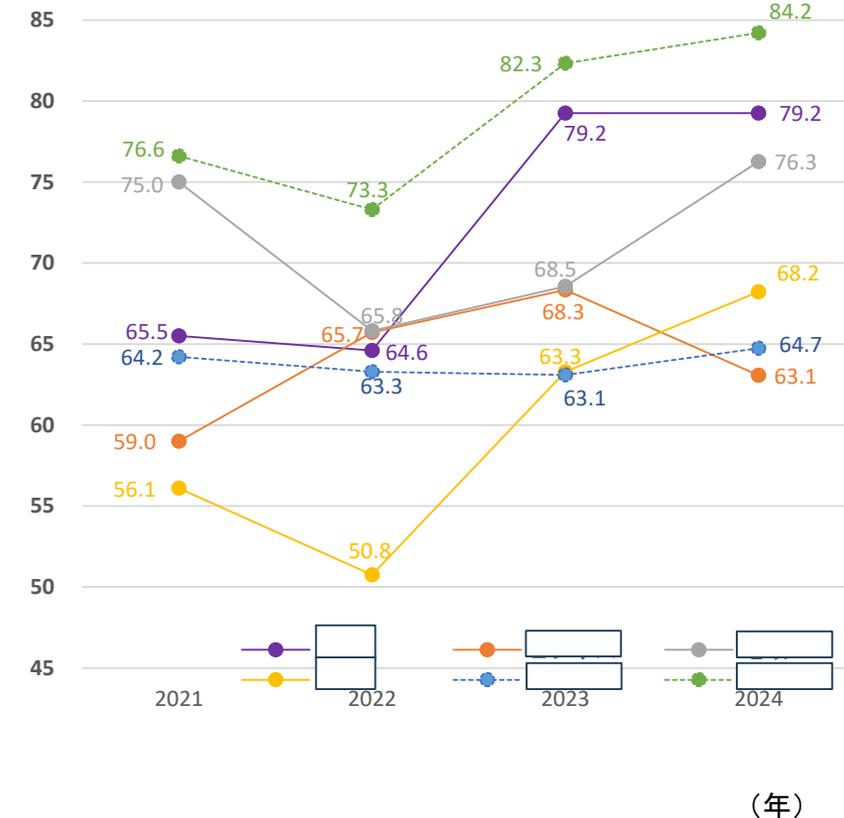


- ▶ 毎年度、全ての在籍生を対象として「学修行動及びキャンパスライフ調査」を実施しています。
- ▶ 大学(3学部4学科)在籍705人 回答686人 97.3%  
短大(2学科) 在籍355人 回答347人 97.7%

(%) 教育全般についての満足度(学科別)



(%) 教員との交流についての実感(学科別)



## 8 学生データの分析(学修行動及びキャンパスライフ調査②)



- 2024年度卒業生(4回生)にスポットを当ててみます。
- 「成長実感」の項目です。
- 調査を積み重ねた結果、2022年度卒業生から、コホート分析も行えるようになりました。
- ✓ 右表の項目について、次の4つの選択肢から1つを選択
  - ①伸びた、②ある程度伸びた、
  - ③あまり伸びなかった、
  - ④伸びなかった
- ✓ 回答中①+②が占める割合を集計  
→ 次ページ

### 成長実感の項目

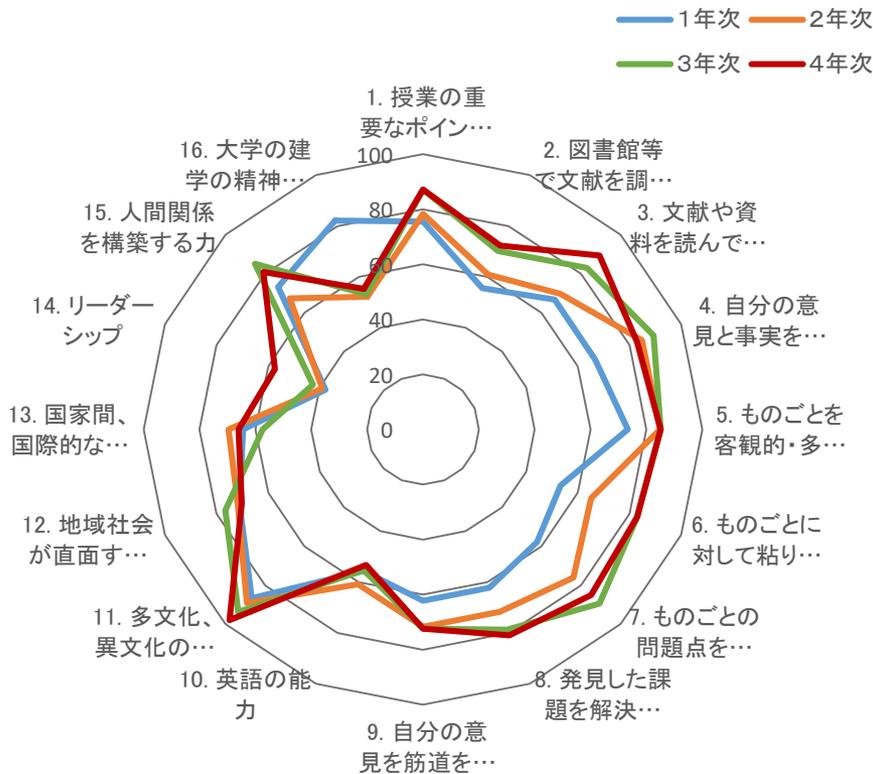
1. 授業の重要なポイントをノートにまとめる力
2. 図書館等で文献を調べる力
3. 文献や資料を読んで要点を理解する力
4. 自分の意見と事実を分けて書く力
5. ものごとを客観的・多面的にとらえる力
6. ものごとに対して粘り強く取り組む力
7. ものごとの問題点を発見する力
8. 発見した課題を解決する力
9. 自分の意見を筋道を立てて主張する力
10. 英語の能力
11. 多文化、異文化の人々に関する知識
12. 地域社会が直面する問題に対する理解
13. 国家間、国際的な問題に対する理解
14. リーダーシップ
15. 人間関係を構築する力
16. 大学の建学の精神や教育理念、歴史や伝統

# 9 学生データの分析(学修行動及びキャンパスライフ調査③)



2024年度卒業生(4回生)について、年次ごとの「成長実感」をグラフ化したものです。これまでの卒業生との比較も行っています。

**成長実感**  
A学部A学科2024卒業生 4年間の推移



これまでの卒業生との比較

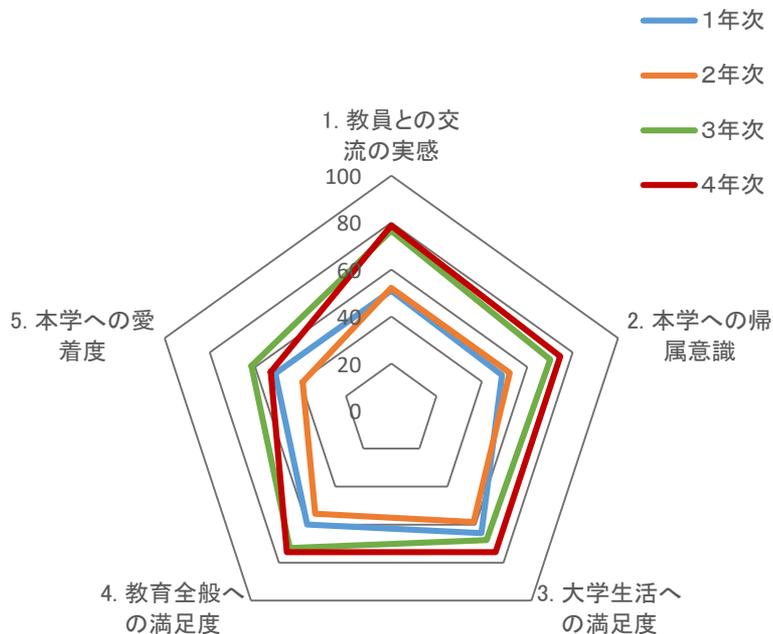


# 10 学生データの分析(学修行動及びキャンパスライフ調査④)

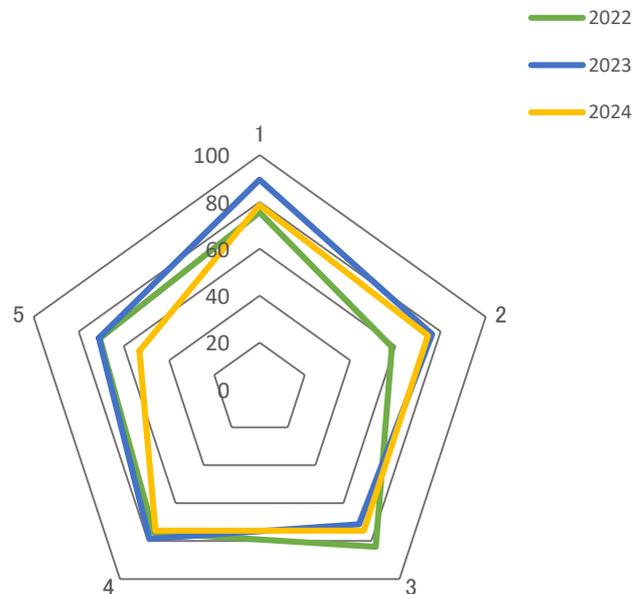


同じく2024年度卒業生(4回生)について、年次ごとの「満足度」をグラフ化したものです。  
「満足度」の項目 ①教員との交流 ②大学への帰属意識 ③大学生活  
④教育全般 ⑤大学への愛着度

満足度  
A学部A学科2024卒業生 4年間の推移



これまでの卒業生との比較



## 1 1 今気になっていること

- アンケートに回答してくれた学生の思いや、回収にご協力いただいた先生方のご苦勞に応えるためにも、**貴重なデータを大切に活用**してきたいと考えています。
- 一定のデータが蓄積され、時系列での比較や他調査と連携した分析も可能となりました。これまでの**分析手法(ノウハウ)を組織としてどのように継承していくか**が課題であると感じています。
- 各種調査の目的を絶えず検証・認識して、分担して作業を行いながら、学生の成長や頑張りを何らかの”かたち”にして、学内にとどまらず学外の関係者にも**わかりやすく提供**することができればと考えています。

## 1 2 これから取り組みたいこと

### 1 学びのアップデートのサポート

- ・文科省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」申請に向けた取組

リテラシーレベル: 全学共通情報関連科目の見直し

応用基礎レベル: 関連カリキュラムの検証 など

### 2 キャリアセンターのサポート

- ・卒業生就職先企業(法人)へのアンケート調査の充実 など

### 3 外部評価向上・資金獲得に向けた取組のサポート

- ・私立大学等改革総合支援事業(タイプ I IR関連項目)
- ・各種調査研究事業

県と大学コンソーシアム岡山との連携事業

若者の就職に伴う地域間移動の分析、情報発信 など

---

# 山陽学園大学・山陽学園短期大学における IR の取り組み

---

